





はぁ
♡

はぁ
♡

くはぁ♡





ふふっ♡

ふふっ♡

ふふっ♡

とっちゃん♡



♡ ぴん ♡

♡ ぴん ♡

♡ ぴん ♡

♡ ぴん ♡

♡ ぴん ♡

♡ ぴん ♡



♡
♡
♡

♡
♡
♡

♡
♡
♡

♡
♡
♡

♡
♡
♡

♡
♡
♡

♡
♡
♡

♡
♡
♡



ふっ♡

ふっ♡

ぽ♡

ぽ♡

ぐっ♡

ぐっ♡

ぐっ♡

ぐっ♡







「ああ♡フブちゃんの可愛いおまんこ♡
もうこんなにごちよごちよに濡れちゃってる…♡」

（え?!なにこれ…身体が動かない…
私デイルドになってる?!）

はぁッ♡

はぁッ♡

くばぁ♡



「へへへ♡それじゃあこのフズちゃん魂入り極太おちんぽデイルド♡
フズちゃんのおまんこにずぽっと挿れちゃおっかな♡」

（な？やめてえ！
自分の身体にこんな太いの入れないで！）

くばぁ♡



「おおッ♡
こゝこれやべえッ♡」

ゴクッ♡

おゝ♡

ゴクッ♡

（いぎいいッ♡
身体が勝手に感じちゃう…♡）

とちゅ♡



「んふッ♡まだまだ楽しませてもらうぜッ♡
もっとおまんこをぐちゃぐちゃに掻き回してやる♡」

「んふッ♡」

「んふッ♡」

（おおッやめてえッ♡
おまんこ壊れちゃう
頭真っ白になっちゃうよぉ♡）

「んふッ♡」

「んふッ♡」

「んふッ♡」

「んふッ♡」



「推しの身体で推しの魂入りおちんぽでオナるのたまんねえッ♡
あんっ♡フブズちゃんも感じてるのがビンビン伝わってくるぜ♡」

ゴクッ♡

ゴクッ♡

あん♡

あん♡

（おほおッ♡だめえッ♡
頭おかしくなりゆうっ♡）

ビチャ♡

ビチャ♡

ビチャ♡

ビチャ♡

「も、もうイクッ♡
つづちゃんも一緒にインッ♡」

「くっ♡」

「くっ♡」

「お♡」

「お♡」

（だめええッ♡ イッちゃううッ♡）

「くっ♡」

「くっ♡」

「くっ♡」

「くっ♡」





ん
お
お
お
お
♡♡♡

お
♡

お
♡

ん
♡

ん
♡♡♡

ん
♡

ん
♡

ん
♡

ん
♡

「はぁ♡はぁ♡最高お♡
フブちゃんのおまんこ汁まみれの極太デイルドお♡」

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

（あぁ…♡私…誰だっけ…
あ、そうだ…私この人専用のデイルドだったあ♡）



「ふふっ♡これで完全にフブちゃん的身體も魂も俺の物だな♡
これから毎日この魂入りおちんぽでフブちゃんのおまんこを開発してやるぜ♡
お前はもう永遠に俺だけの専用オナホだ♡」

ふふっ♡

はぁ♡

はぁ♡

ふふっ♡

（はい…♡私はフブキじゃなくて…
ご主人様のおちんぽデイルドです…♡
一生使ってください…♡）

